Ⅲカタカナ単音＋カタカナ名詞

・教具
　絵カード、レアリア、クロスワード、練習プリント

・授業の流れ
①復習テスト(ひらがな総復習の名詞)
②カタカナカードでカタカナの確認・発音(ア～ン)
③カタカナ(絵カード)の単語・発音練習
④カタカナ(絵カード)書き取り練習
⑤言葉鬼ゲーム
⑥クロスワード
⑦プリントを使った練習

何を目指したか	注意した点、努力した点
【原田】 長音の名詞が 分かる→覚える→使える ようになる。	【原田】 ・指示を明確にする。 ・レアリアを用いてより学生が分かるように工夫した。
【岩間】 今まで習ったひらがなの総復習とし、ひらがなとその意味や絵が一致し、使えるようになる。	【岩間】 ・指示を明確にする。 ・授業が単調にならないように合間にゲームを入れた。
【佐藤】 カタカナの単語習得(絵カード) 　とカタカナ習得 絵と文字が一致し、使えるようになる。	【佐藤】 ・指示を明確にする。 ・身体を使うゲーム。 ・聞く・話す・書く

良かった点	悪かった点
【原田】 ・神経衰弱が盛り上がって、学生が積極的に参加していた。 ・講義とゲームで授業内でメリハリをつけることができた。	【原田】 ・声のトーンが低かった。 ・長音の部分をより強調させて学生に発音させるべきだった。 ・指示語が足りなかった。
【岩間】 ・聞く、見る、話す、書くのバランスが取れた授業展開ができた。 ・カードの提示がうまくできた。 ・時間配分	【岩間】 ・発音が一定しなかった。 ・発音指導がうまくできなかった。 ・グループ内の活動に差があった。
【佐藤】 ・レアリアを多く取り入れた。 ・繰り返し単語練習をし、教え込む授業展開。	【佐藤】 ・緊張が学生に伝わった点。 ・早口になってしまった。 ・クラス全体の役割・うごきを考えていなかった。

文法の授業について

＜担当＞

Ⅰ（佐藤）『みんなの日本語　初級Ⅰ』

第4課　練習A1～4　電話　練習C3

Ⅱ（原田）『みんなの日本語　初級Ⅰ』

第4課　練習A5～7

Ⅲ（岩間）『みんなの日本語　初級Ⅰ』

第5課　練習A1～2